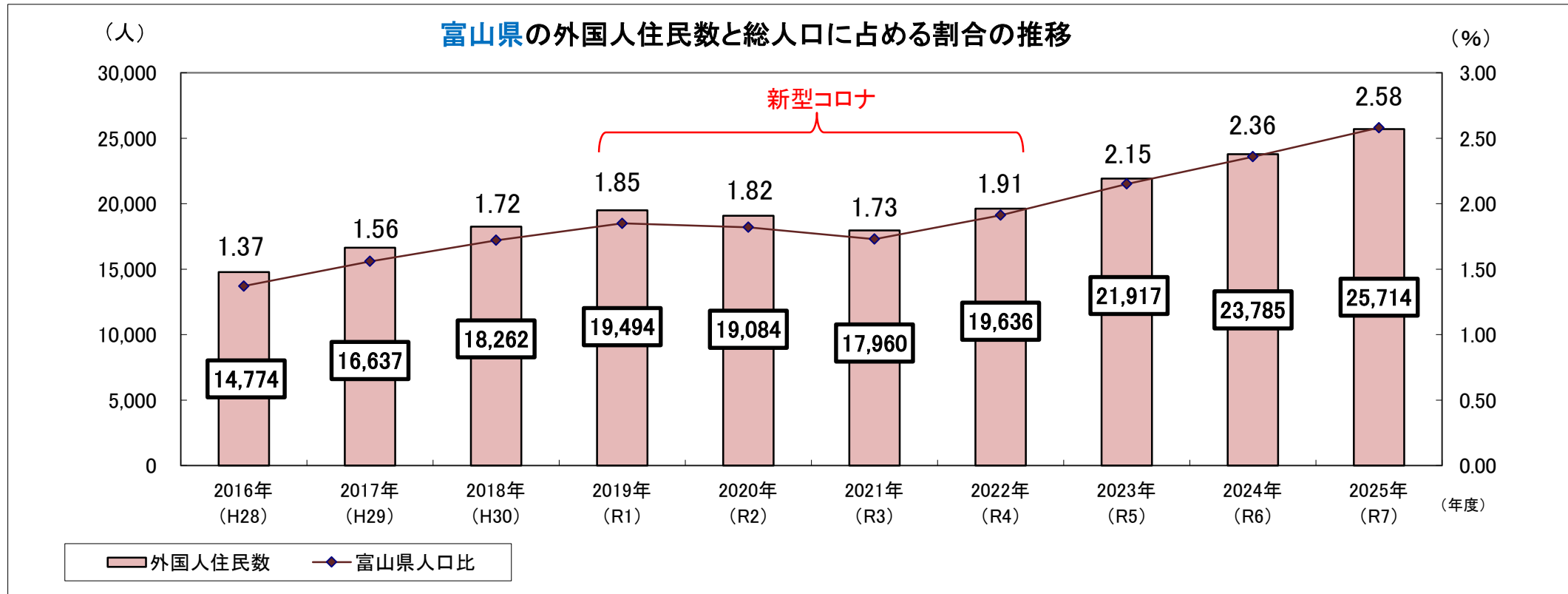


富山県における在住外国人の状況について

富山県 多文化共生推進室 外国人共生社会推進課

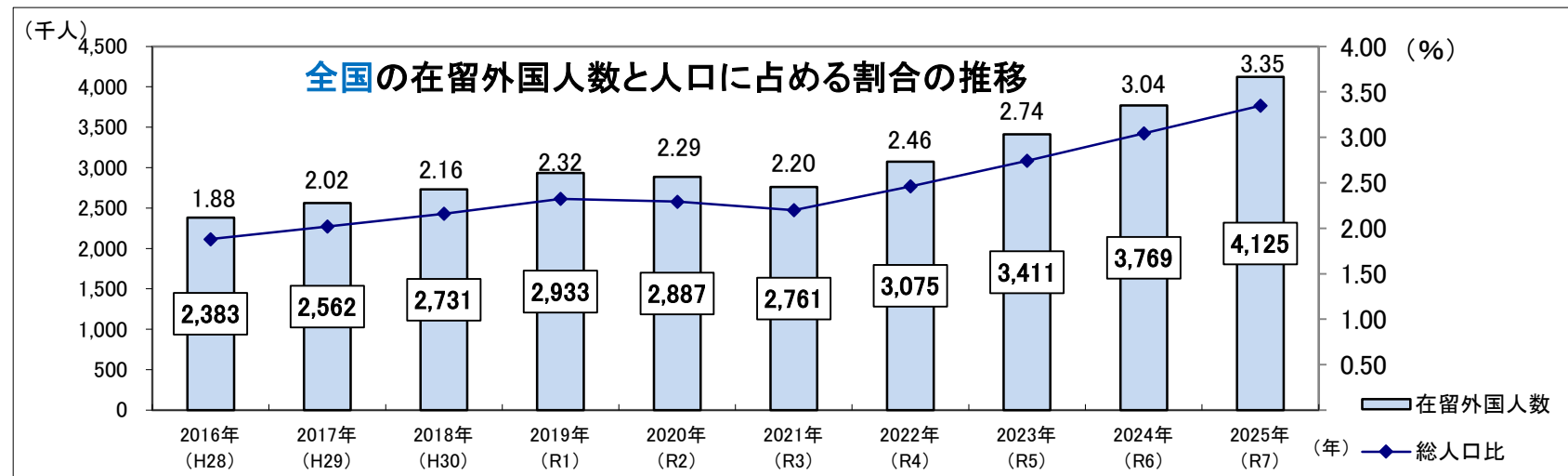
総数

県内における外国人住民数は増加傾向にあり、新型コロナウイルス流行の影響で一時的に減少したものの、令和7年度には25,714人、総人口に占める割合は2.58%となり、ともに過去最多を更新している。



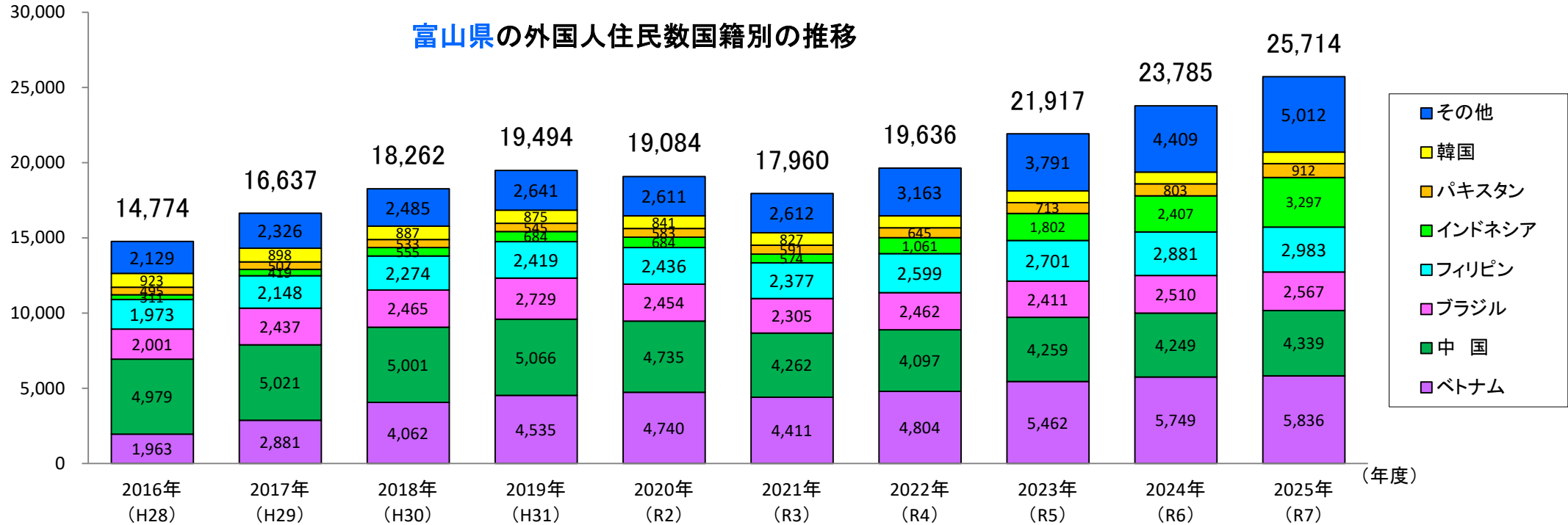
資料出所：
県多文化共生推進室「富山県内外国人統計」(各年1月1日時点)

法務省「在留外国人統計」(各年12月末時点)
総務省「人口推計」(各年10月1日時点)

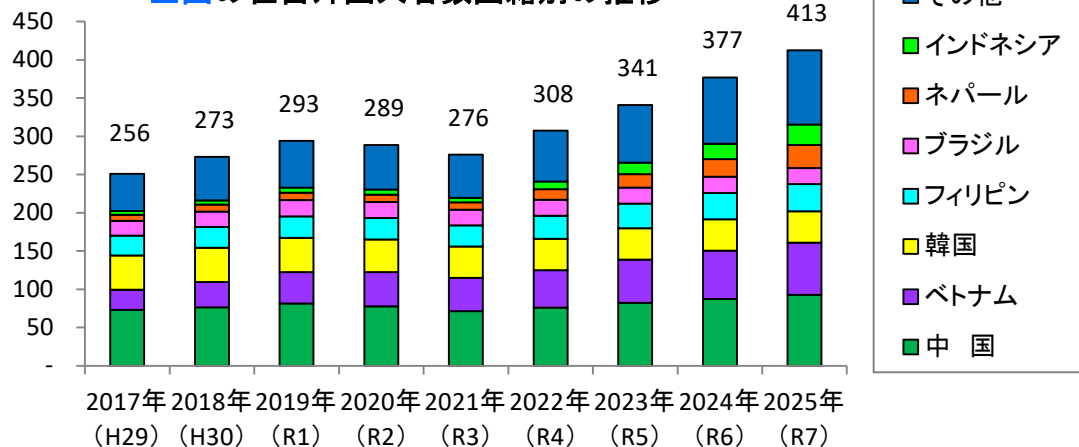


国籍別にみると、就労関係の在留資格を主とするベトナムが最も多く、近年は同じく就労関係の在留資格を主とするインドネシアの増加が顕著である。

富山県の外国人住民数国籍別の推移



全国の在留外国人者数国籍別の推移



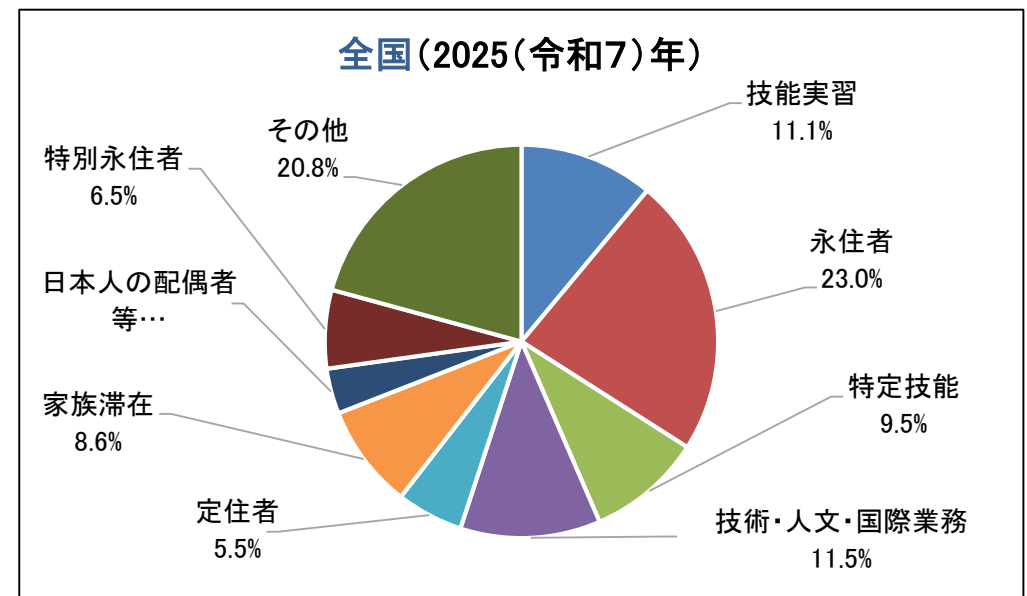
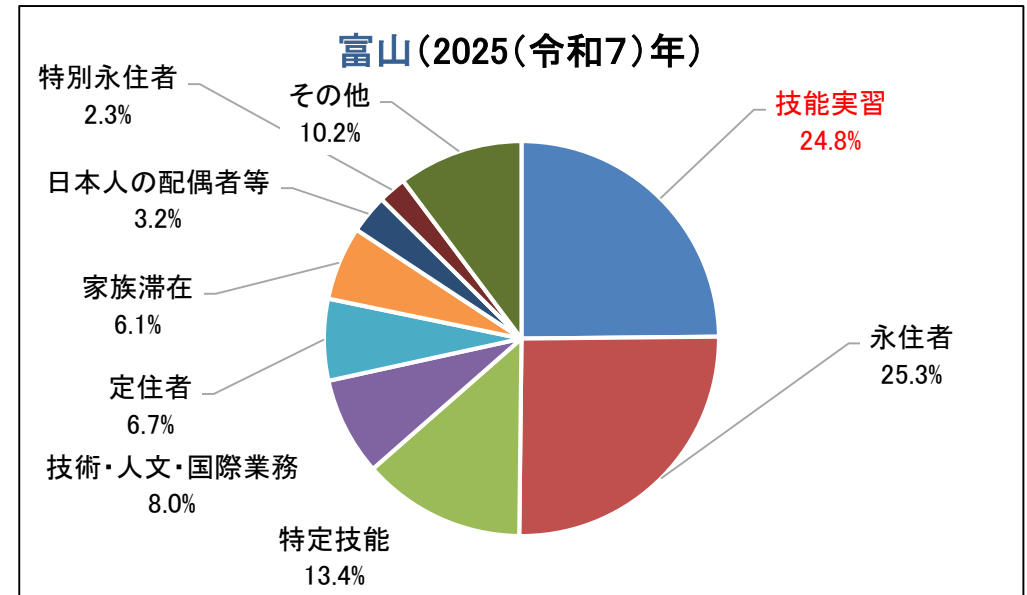
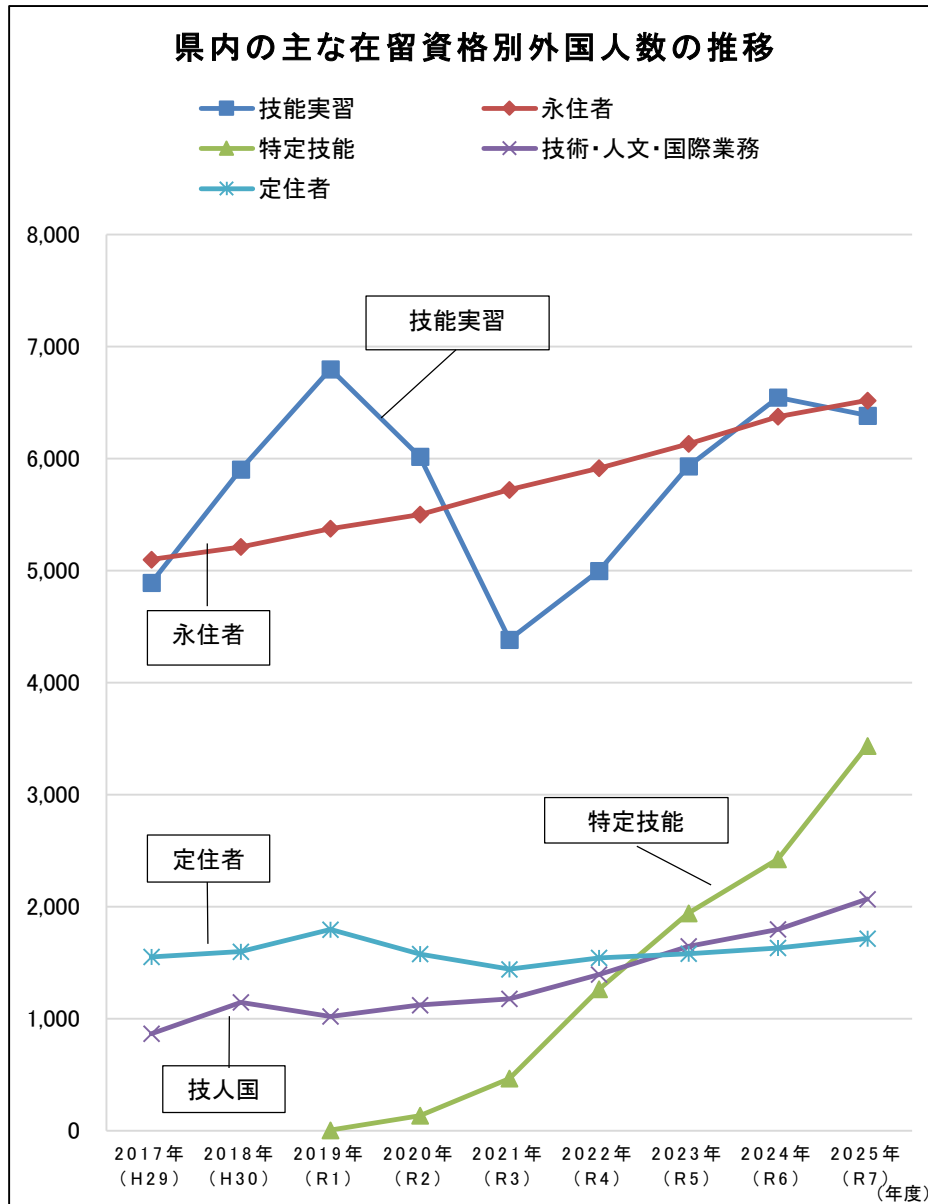
外国人住民数上位7国籍及び構成比

順位	富山県 (2025年度)		全国 (2025年度)	
	国籍	構成比	国籍	構成比
1	ベトナム	22.7%	中国	22.6%
2	中国	16.9%	ベトナム	16.5%
3	インドネシア	12.8%	韓国	9.9%
4	フィリピン	11.6%	フィリピン	8.6%
5	ブラジル	10.1%	ネパール	7.3%
6	パキスタン	3.5%	インドネシア	6.4%
7	韓国	3.0%	ブラジル	5.1%
(参考)	その他	19.5%	その他	23.6%

資料出所：県多文化共生推進室「富山県内外国人統計」(各年1月1日時点)
法務省「在留外国人統計」(各年12月末時点)

在留資格別

在留資格別にみると、県内においては「特定技能」の外国人数が近年急増している。また、全国と比較すると、富山県は「技能実習」「特定技能」に関する在留資格の割合が特に高い。



資料出所: 県多文化共生推進室「富山県内外国人統計」(各年度1月1日時点)
法務省「在留外国人統計」(12月末時点)

<近年の主な動き>

令和6年6月 改正入管法及び育成就労法が公布

⇒技能移転による国際貢献を目的とする技能実習制度を抜本的に見直し、人手不足分野における人材の育成・確保を目的とする育成就労制度を創設(令和9年4月1日から運用開始)

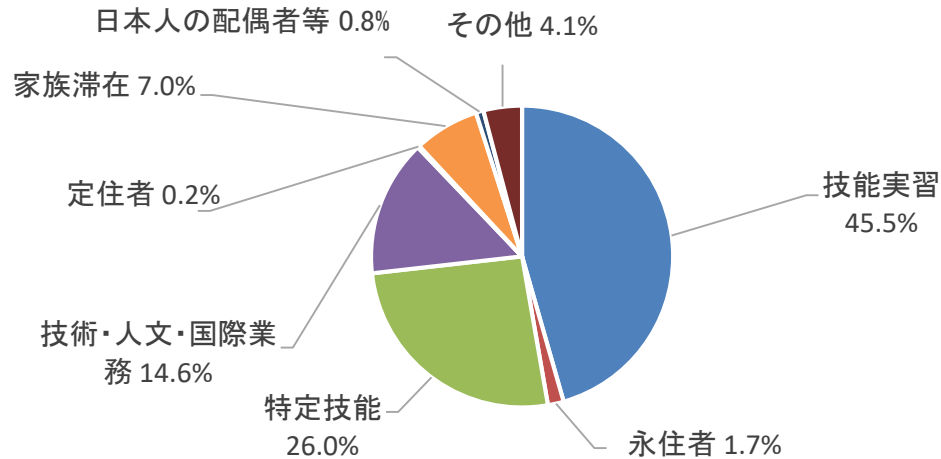
在留資格 例

在留資格	該当例	在留期間
特定技能	1号:相当程度の知識、経験	1年、6月、4月
	2号:熟練した技術	3年、1年、6月
技能実習 (⇒育成就労へ移行)	技能実習生(1~3号)	個々に指定 (1or2年以下)
技術・人文・国際業務	機械工学等の技術者等, 通訳, デザイナー, 語学講師 等	5年、3年、1年、3月
永住者	原則10年以上継続して在留 ①素行要件 ②独立生計要件 ③国益適合要件 等	無期限
定住者	第三国定住難民 日系3世 中国残留邦人 等	5年、3年、1年、6月 個々に指定 (5年以内)

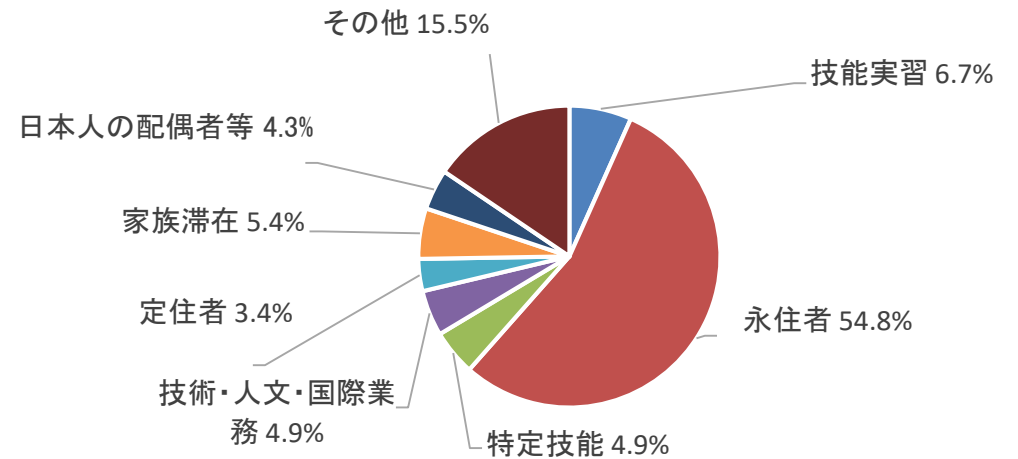
在留資格別（ベトナム、中国、インドネシア、フィリピン） 富山で暮らす外国人

外国人住民数が多い、ベトナム、中国、インドネシア、フィリピン国籍者について在留資格をみると、ベトナム及びインドネシア国籍者は技能実習、中国及びフィリピン国籍者は永住者がそれぞれ最も多い。

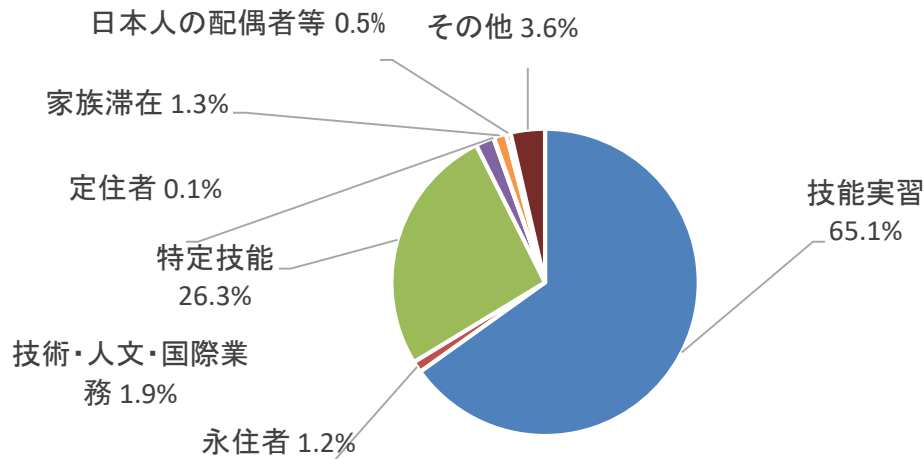
県内 在留資格別(ベトナム)



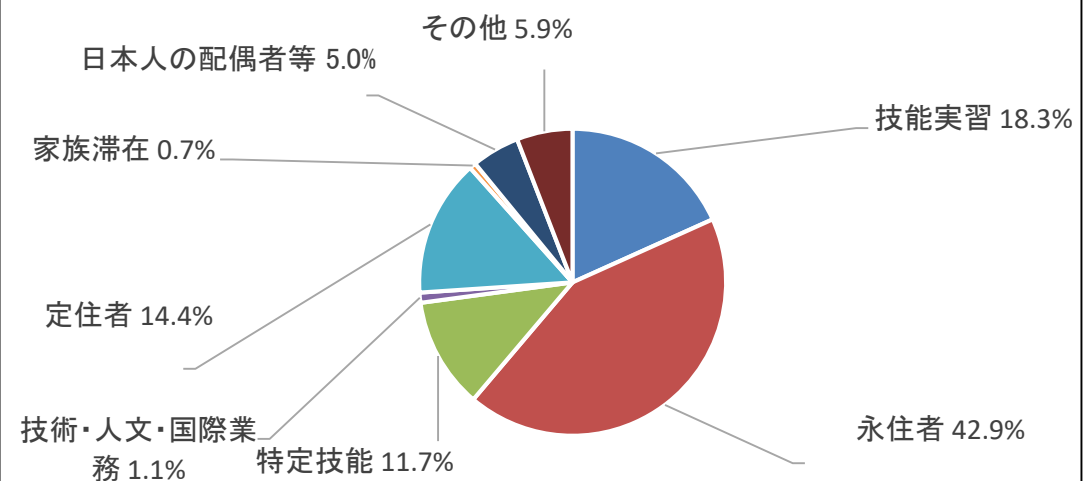
県内 在留資格別(中国)



県内 在留資格別(インドネシア)



県内 在留資格別(フィリピン)



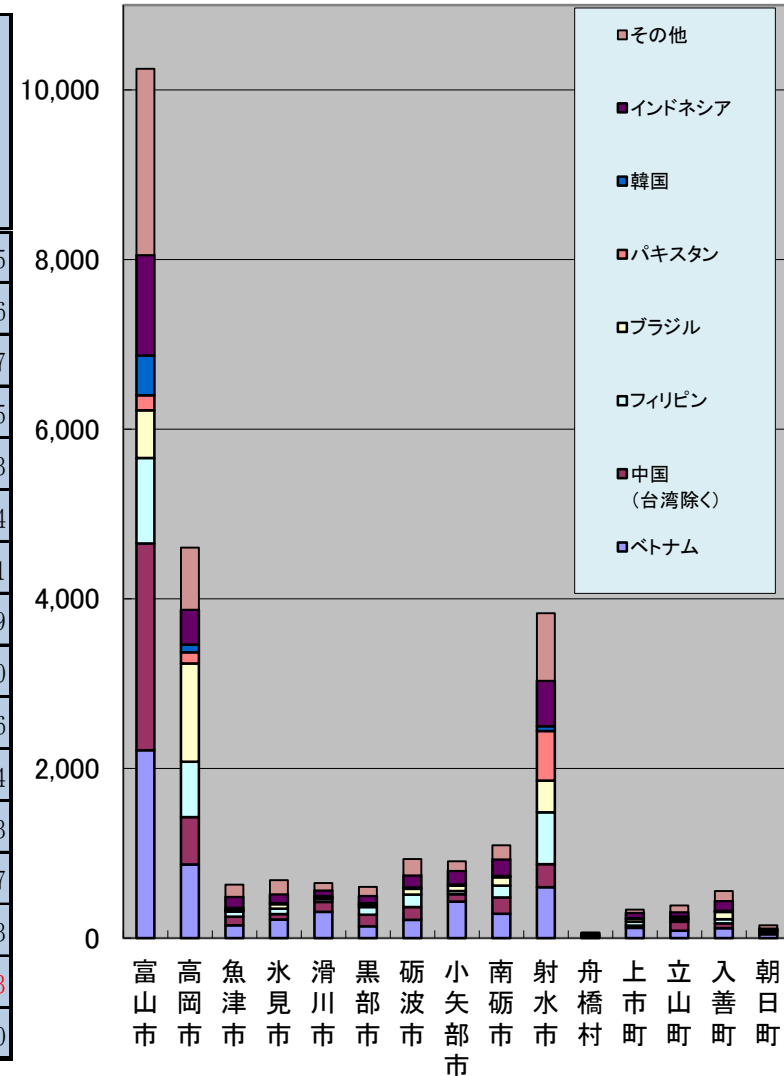
市町村別

富山で暮らす外国人

市町村別にみると、富山市、高岡市、射水市に多く在住しており、この3市で7割を超える。また、国籍別の内訳は各市町村により異なっており、富山市は中国・ベトナム、高岡市はブラジル、射水市はベトナム・フィリピン・パキスタン国籍が多いのが特徴である。

市町村別外国人住民数(2025(令和7)年度)

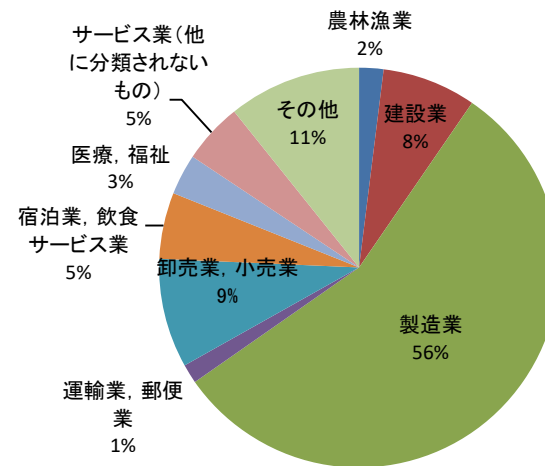
	ベトナム	(台湾除く) 中国	フィリピン	ブラジル	インドネシア	パキスタン	韓国	ウクライナ	その他	総数	住基人口に 占める割合に (%)	(R3・1) 5年前総数	5年増減 人数
富山市	2,217	2,435	1,008	565	1,186	175	468	7	2,198	10,259	2.56%	7,494	2,765
高岡市	870	558	652	1,158	411	132	91	5	732	4,609	2.86%	3,613	996
魚津市	151	103	60	15	134	9	17		140	629	1.65%	512	117
氷見市	221	62	64	52	105	0	12		168	684	1.66%	479	205
滑川市	308	120	34	15	67	2	16		89	651	2.01%	438	213
黒部市	141	135	90	26	86	8	12		106	604	1.56%	400	204
砺波市	217	151	146	69	141	0	15		193	932	2.01%	771	161
小矢部市	431	88	35	67	163	0	9		114	907	3.31%	548	359
南砺市	286	195	140	98	196	0	14		167	1,096	2.43%	886	210
射水市	602	269	614	372	539	585	55	20	794	3,850	4.31%	2,754	1,096
舟橋村	17	12	2	0	29	0	0		3	63	1.89%	39	24
上市町	123	24	47	32	61	0	10		39	336	1.83%	253	83
立山町	89	104	26	10	51	0	26		81	387	1.61%	280	107
入善町	118	55	51	86	116	1	10		120	557	2.56%	454	103
朝日町	45	28	14	2	12	0	13		36	150	1.49%	163	-13
総数	5,836	4,339	2,983	2,567	3,297	912	768	32	4,980	25,714	2.58%	19,084	6,630



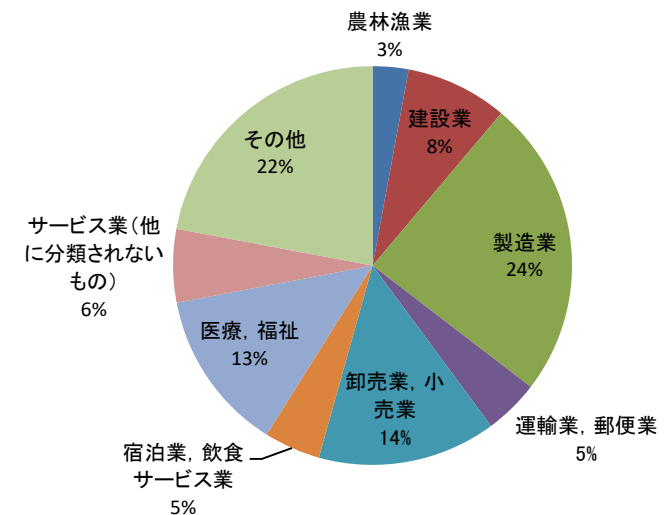
県内在住外国人の就業状況を産業別にみると、全体の半数以上が「製造業」に従事しており、次いで「卸売業、小売業」「建設業」の順となっている。

産 業（11区分）		従業者数
総	数	11,198
農	林 漁 業	222
建	設 業	851
製	造 業	6,240
運 輸 業 ， 郵 便 業		175
卸 売 業 ， 小 売 業		988
宿 泊 業 ， 飲 食 サ ー ビ ス 業		601
医 療 ， 福 祉		369
サ ー ビ ス 業（他に分類されないもの）		550
そ の 他		1,202

富山県内の外国人の就業状況（産業別）



富山県の就業状況（産業別）



資料出所：令和2(2020)年国勢調査(10月1日時点)

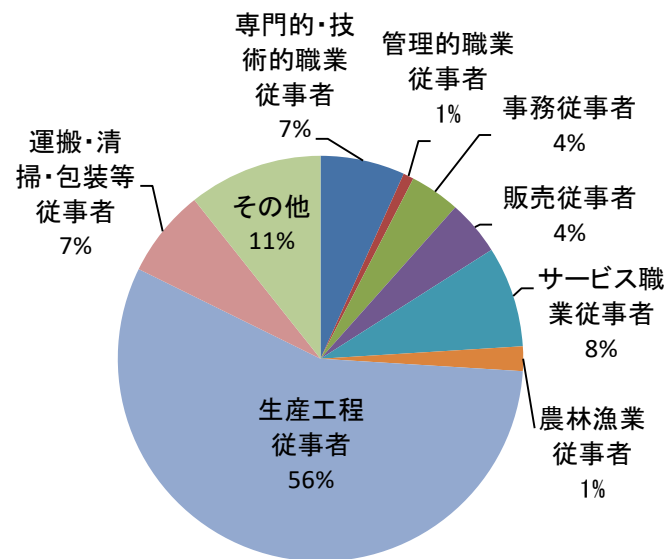
就業状況（職業別）

県内の在住外国人の就業状況を職業別にみると、「生産工程従事者」が全体の半数以上を占め、次いで「サービス職業従事者」「運搬・清掃・包装等従事者」が多い。

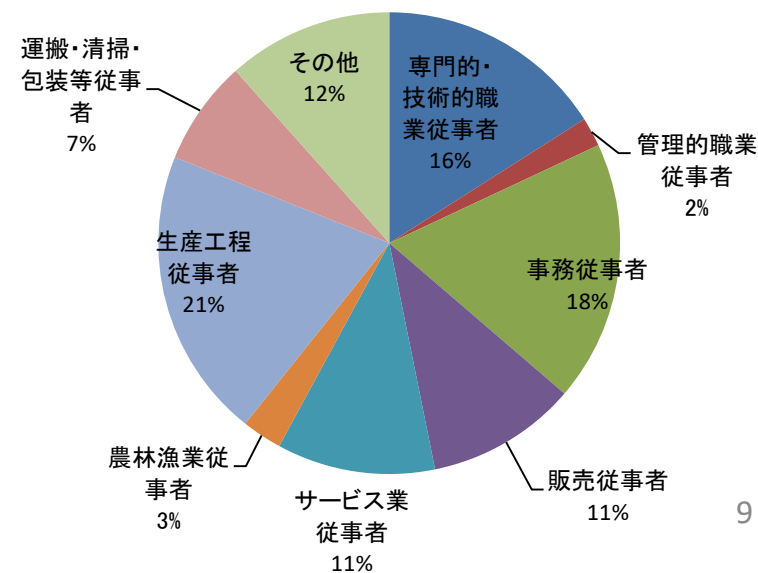
富山県内の外国人の就業状況（職業別）

職業（大分類）		従業者数
総数		11,198
専門的・技術的職業従事者		753
管理的職業従事者		94
事務従事者		451
販売従事者		491
サービス職業従事者		901
農林漁業従事者		220
生産工程従事者		6,305
運搬・清掃・包装等従事者		786
その他		1,197

(人)



富山県の就業状況（職業別）



資料出所: 令和2(2020)年国勢調査(10月1日時点)

日本語指導が必要な児童生徒数

富山で暮らす外国人

日本語指導が必要な児童生徒数は全国、富山県とも増加傾向であり、日本語指導が必要な児童生徒のうち、家庭および日常生活において比較的使用頻度の高い言語がポルトガル語の児童生徒が最も多い。

富山県内における日本語指導が必要な児童生徒数

学校種別(人)

	令和5年度																				前回比較	
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校				特別支援学校			合計		合計					
	うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級	(計)	全 日 制	定 時 制	通 信 制	(計)	前期課程		後期課程		(計)	小 学 部	中 学 部	高 等 部	合計	うち 特別 支援 学級	前 回 比	令 和 3 年 度	
										うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級											
外国籍	353	18	104	9	5	1	2	2	1	0	0	1	1	1	0	0	1	464	28	114.3%	406	
日本国籍	52	2	12	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	2	101.5%	66	

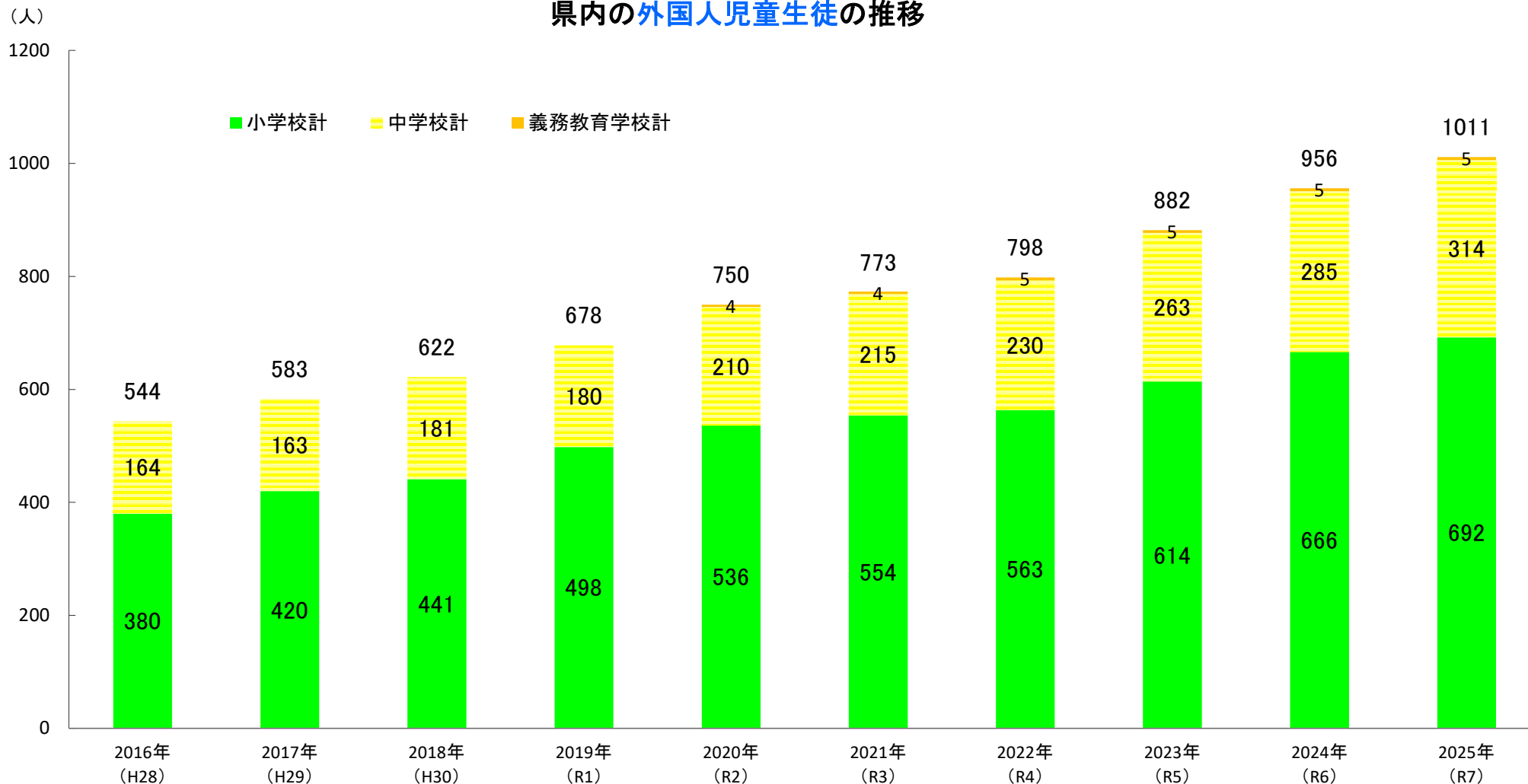
言語別(人)

	令和5年度									
	日本語	英語	韓国・朝鮮語	スペイン語	中国語	フィリピン語	ベトナム語	ポルトガル語	その他	合計
外国籍	20	32	0	16	54	57	20	128	137	464
日本国籍	12	12	0	2	17	12	2	7	3	67

資料出所: 文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」(令和5(2023)年5月1日現在)

県内の外国人児童生徒数は年々増加傾向にあり、令和7年には1,000人を超えている。

県内の外国人児童生徒の推移

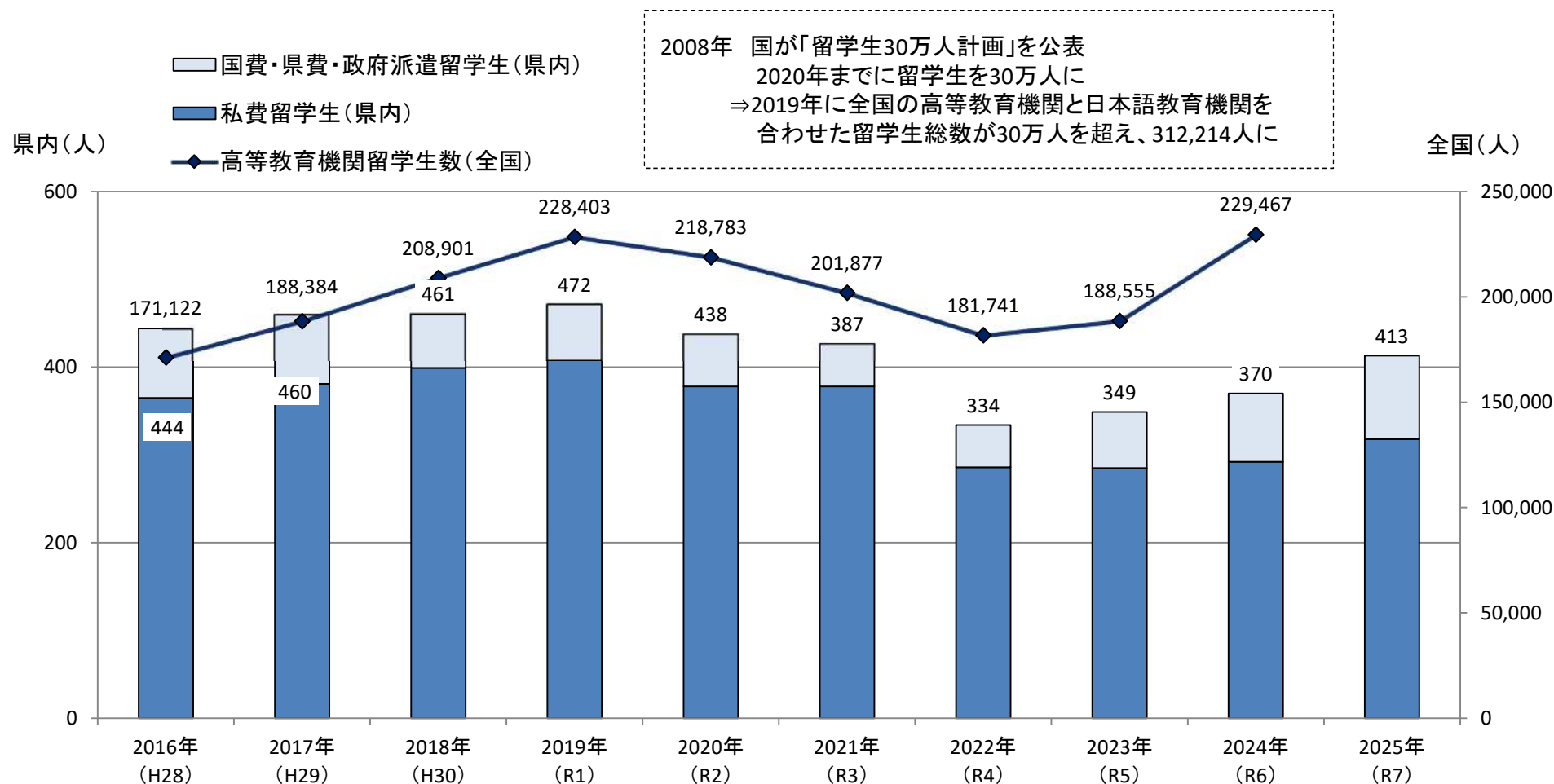


資料出所: 文部科学省「学校基本調査」(各年5月1日時点)

県内の大学・短大・高専で学ぶ外国人留学生の数は、新型コロナウイルスによる入国制限等の影響によって令和2年以降は減少傾向にあったが、令和5年には増加に転じた。また、私費留学生が全体の8割以上を占めている。

全国の留学生総数も同じく、令和2年以降は減少傾向にあったが、令和5年には増加に転じた。

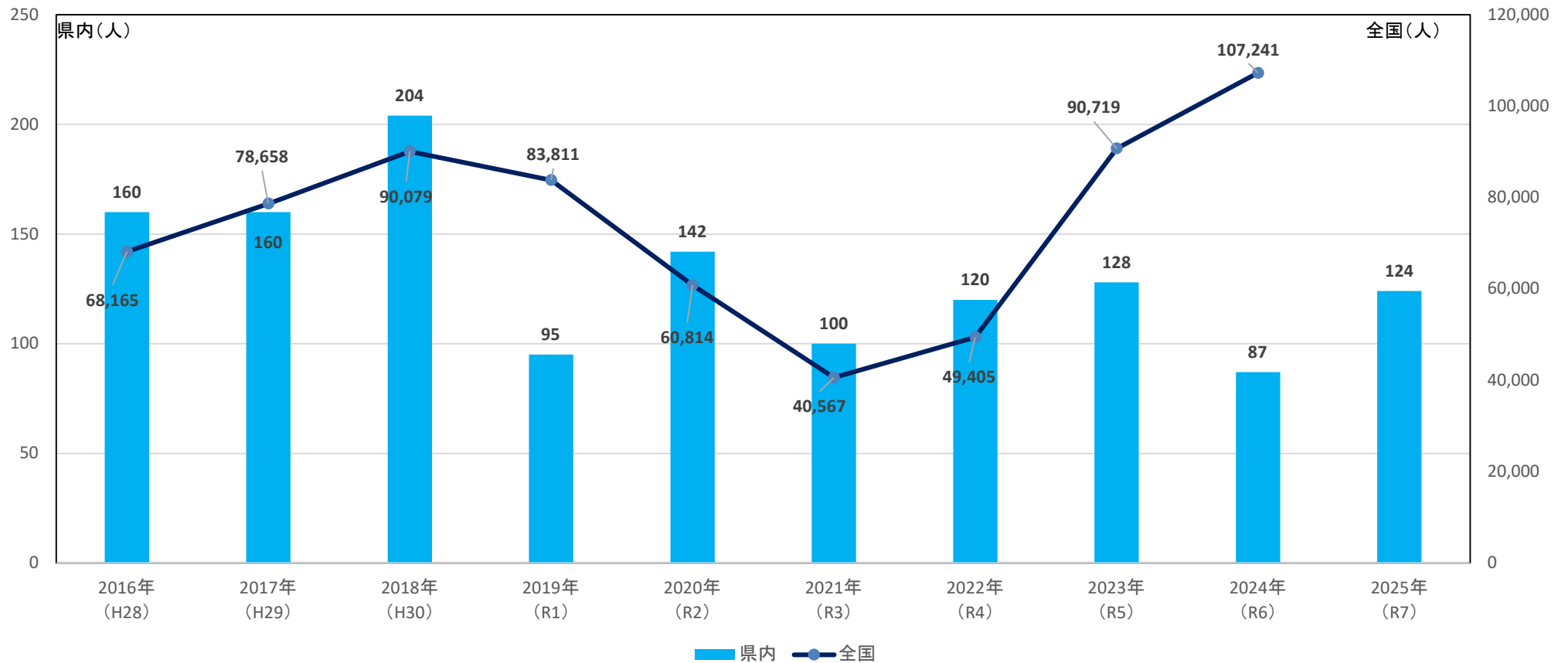
外国人留学生数の推移



資料出所: 富山県「外国人留学生に関する調査」(各年5月1日現在)
 独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」(各年5月1日現在)

県内の日本語教育機関で学ぶ外国人留学生の数は、平成30年に最多の人数となり、それ以降は100人前後で推移している。全国の日本語教育機関で学ぶ留学生は令和元年以降減少傾向にあったが、令和4年から増加に転じた。

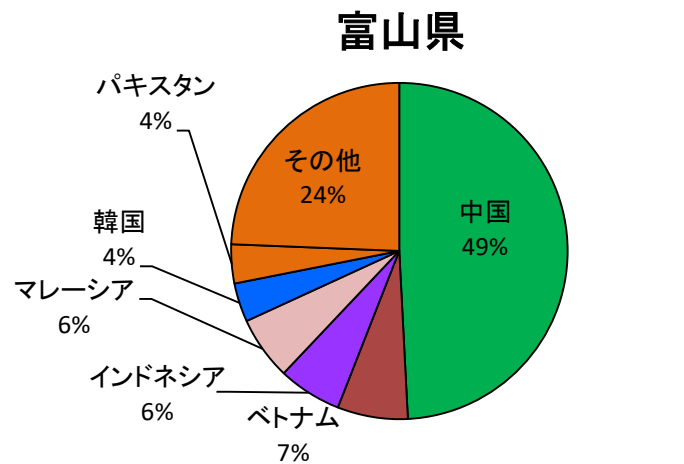
外国人留学生数の推移(日本語教育機関)



資料出所: 富山県「外国人留学生に関する調査」(各年5月1日現在)
 独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」(各年5月1日現在)

令和7年度の県内外国人留学生を出身国別にみると、中国が全体の5割を占め、次いでベトナム、インドネシアと続き、アジア出身者が多い。令和6年度の全国の外国人留学生については、中国の次に、ネパール、ベトナムの順になっている。

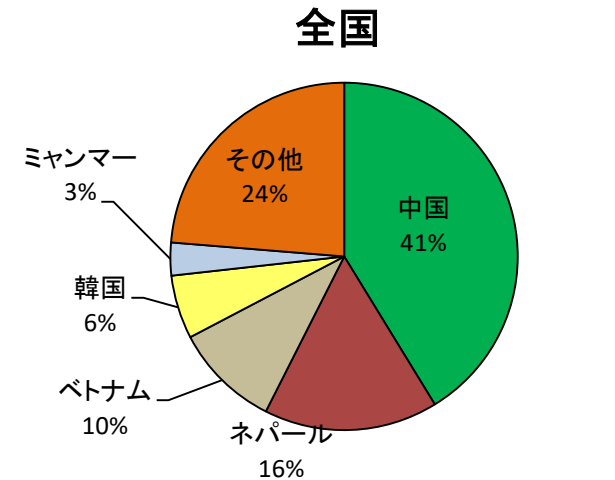
外国人留学生の出身国(地域)別の状況



富山県出身国(地域)別 上位6位

国(地域)名	留学生数
中国	210
ベトナム	29
インドネシア	26
マレーシア	26
韓国	16
パキスタン	16

資料出所:富山県「外国人留学生に関する調査」
(令和7(2025)年5月1日時点)



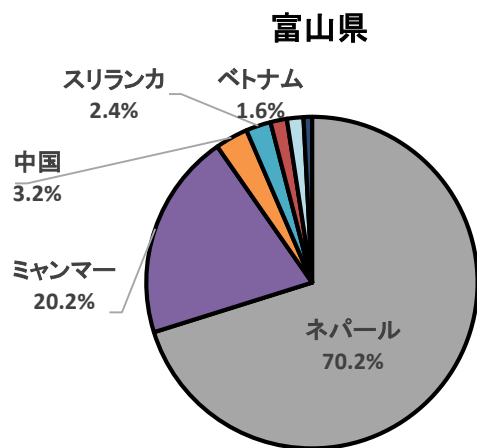
全国出身国(地域)別 上位5位

国(地域)名	留学生数
中国	94,635
ネパール	37,203
ベトナム	22,633
韓国	13,566
ミャンマー	6,996

資料出所:独立行政法人日本学生支援機構
「外国人留学生在籍状況調査」
(令和6(2024)年5月1日時点)

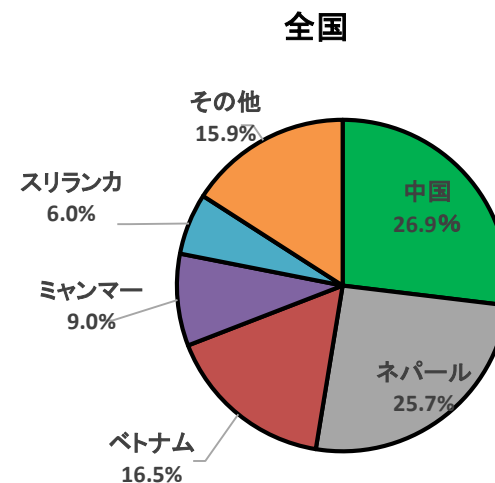
令和7年度の県内外国人留学生(日本語教育機関)を出身国別にみると、ネパールが全体の7割を占め、次いでミャンマー、中国と続く。全国の外国人留学生については、中国の次に、ネパール、ベトナムの順になっている。

外国人留学生の出身国(地域)別の状況



国(地域)名	留学生数
ネパール	87
ミャンマー	25
中国	4
スリランカ	3
ベトナム	2
パキスタン	2
インドネシア	1

資料出所:富山県「外国人留学生に関する調査」
(令和7(2025)年5月1日時点)



国(地域)名	留学生数
中国	28,850
ネパール	27,613
ベトナム	17,690
ミャンマー	9,600
スリランカ	6,490

資料出所:独立行政法人日本学生支援機構
「外国人留学生在籍状況調査」
(令和6(2024)年5月1日時点)